

世界遺産登録推進NEWS

国立西洋美術館を世界遺産に！
For The World Heritage!



【発行】2015(平成27)年6月 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1082

ホームページ二次元コード
(スマートフォン対応) ⇒



お知らせ ◎浅草文化観光センターでパネル展を開催しています！

現在、浅草文化観光センターの7階で「国立西洋美術館を世界遺産に！」をテーマとしたパネル展を開催しています。

今回のパネル展では、今年で没後50周年を迎えたル・コルビュジエの建築のアイデアや本年1月に提出した推薦書の概要等の紹介を行っています。

また、各種パンフレット等を設置するとともに、6階多目的ホールにてDVD「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」(上映時間 約18分間)を放映しています。

この機会にぜひご覧ください！

◆開催期間：5月30日(土曜日)から6月29日(月曜日)まで

◆開催場所：浅草文化観光センター(台東区雷門2-18-9)

7階展示スペース：パネル展示・DVD放映

6階多目的ホール：DVD放映

ぜひ
見に来てね！



パネル展ポスター

◎根岸小学校にて出前授業を行いました！

6月2日(火曜日)、台東区立根岸小学校にて、6年生95名を対象に、国立西洋美術館の世界遺産登録推進について出前授業を行いました。この授業は総合的な学習の時間(ドリムタイム)を使い、上野の山について学習するプログラムの一環として行われたものです。

国立西洋美術館や建築家ル・コルビュジエのこと、世界遺産について、世界遺産登録を目指す経緯や今後のスケジュール、台東区の取り組み等について、映像等を交えながら区の担当より説明を行いました。

授業の後には、「国立西洋美術館はなぜ上野の山に建設されたのか」や「イコモスの現地調査は何人に来るのか」、「初めて世界遺産になったのはどの資産か」など質問が活発に出され、約1時間半の時間でしたが、皆さん熱心に授業を受けてくれました。



第39回世界遺産委員会が開催されます！



平成27年6月28日(日曜日)から7月8日(水曜日)に、ドイツの都市ボンにて第39回世界遺産委員会が開催されます。

今回の世界遺産委員会では、日本から推薦されている「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、山口県、岩手県、静岡県)について、名称を「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」と変更した上で「記載」が適当であるという世界遺産委員会の諮問機関であるICOMOS(イコモス)からの勧告内容を踏まえ、世界遺産一覧表への記載の可否が決定されます。

審議結果については次号(No.40)でお知らせします。

活動報告

桜橋花まつりとマロニエまつりで 国立西洋美術館についてPRしました！

4月4日（土曜日）と4月5日（日曜日）に開催された「第27回桜橋花まつり」では、横断幕と幟旗を持ってパレードに参加するとともに、ステージ上で国立西洋美術館の世界遺産登録に向けたPRを行いました。

5月9日（土曜日）と5月10日（日曜日）に開催された「第8回浅草橋紅白マロニエまつり」では、ブースにてPRを行いました。

両イベントとも来場された方々にパンフレットや啓発用のシール、ティッシュ等を配布し、多くの方へご理解とご支援をお願いしました。今後も各種イベント等に参加し、積極的にPR活動を実施して参ります。

- ＜次のイベント参加予定＞
- ・下町七夕まつりパレード（7月4日）
 - ・うえの夏まつりパレード（7月18日）



桜橋花まつりの様子



浅草橋紅白マロニエまつりの様子

展覧会のお知らせ

◆「ボルドー展 — 美と陶酔の都へ —」

国立西洋美術館



* 開催期間：6月23日（火曜日）～9月23日（水曜日・祝日）

* 古代ローマ以来の伝統を誇るワインの生産と海洋貿易がもたらした富を背景に、洗練された独自の都市文化を育んできたフランス南西の港町ボルドー。ボルドー市の全面的な協力を得て実現した本展は、200点を超える多様な作品・資料を通じて、先史時代から現代まで、ボルドーの悠久の歴史と美術を展覧するものです。

ドラクロワやルドン、ゴヤをはじめ、町にゆかりのある数々の画家や作品を紹介するとともに、名高い《角を持つヴィーナス（ローセルのヴィーナス）》をはじめとする貴重な考古・歴史資料から、在りし日の市民生活を物語る数々の装飾芸術品まで幅広い展示をおこないます。

ぜひ、この機会にご覧ください。

詳しくはこちら（国立西洋美術館ホームページ）

⇒ <http://www.nmwa.go.jp/jp/exhibitions/2015bordeaux.html>



◆「ル・コルビュジエを取り巻く人びと」展

大成建設ギャラリー・タイセイ

（神奈川県横浜市中区長者町 6-96-2）

* 開催期間：3月26日（木曜日）から 9月5日（土曜日）まで

※木・金・土曜日のみ開館（日～水曜日、8/13～15は休館。また、臨時休館の場合がありますので、ホームページでご確認ください）

* 20世紀を代表する建築家ル・コルビュジエ（1887～1965）は、2015年で没後50年を迎えました。亡くなって半世紀が経ちましたが、まだまだ彼に関する新しい事実が発見されたり、未発表だった資料が公開されたりしています。ル・コルビュジエがどういう人物であったか、彼の周りにいた人びとに目を向けてみると、彼の新たな一面が浮かび上がってくるかもしれません。

本展では、ル・コルビュジエの家族、青年期までに影響を受けた教師や先輩たち、パリに出てから知り合った多くの芸術家、施主たち、そして彼の元に集まってきた弟子や、建築に限らず様々な分野でル・コルビュジエに協力した人たちなどル・コルビュジエを取り巻き、彼を支えた多くの人びとを紹介しています。この機会にぜひご覧ください。

詳しくはこちら（大成建設ギャラリー・タイセイホームページ）

⇒ <http://www.taisei.co.jp/galerie/index.html>

